

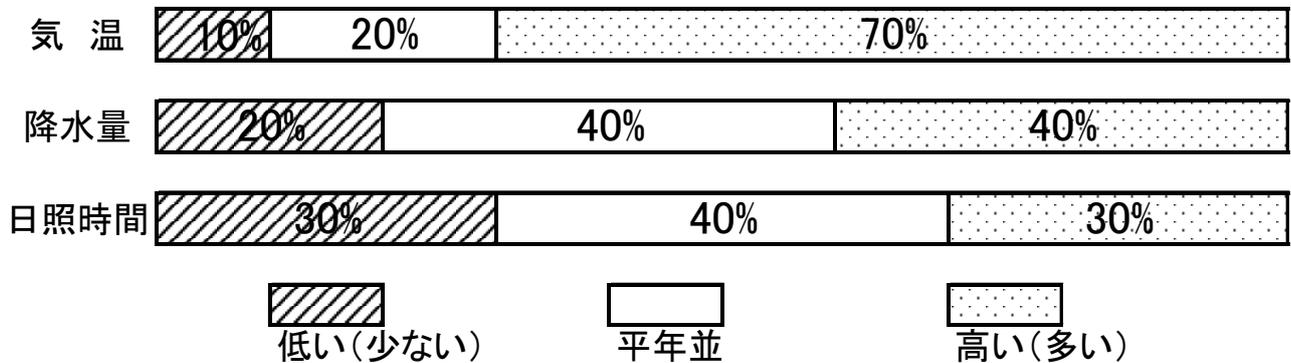
平成28年度 病害虫発生予察情報 発生予報第2号（5月）

平成28年5月 2日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
普通作物	ムギ	さび病類	やや多い
		赤かび病	平年並
	イネ	うどんこ病	平年並～やや多い
		ヒメトビウンカ	やや多い
果樹	ナシ	ニカメイチュウ	やや多い
		イネミズゾウムシ	やや少ない
		黒斑病	平年並～やや多い
	カキ	黒星病	平年並～やや多い
		シンクイムシ類	平年並～やや多い
		ハマキムシ類	やや多い
野菜	タマネギ	ハダニ類	平年並～やや多い
		灰色かび病	平年並～やや多い
	イチゴ	かきたまアザミウマ	平年並
		ポトリス属菌による葉枯れ	少ない
		べと病	多い
		腐敗病・軟腐病	やや多い
イチゴ	灰色かび病	やや少ない	
	うどんこ病	平年並	
	アブラムシ類	多い	
		ハダニ類	やや多い～多い

中国地方1か月予報(4月30日～5月29日・広島地方気象台4月28日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 普通作物

1) ムギ

(1) さび病類（小さび病、赤さび病）

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

やや多い

予報の根拠

① コムギ赤さび病の巡回調査地点における4月下旬の発生量は、一部地域で多く発生圃場率が26.8%（平年3.7%）、発病率が18.4%（平年2.0%）であった。オオムギ小さび病は発生を認めていない。

② ムギの生育は早い。

③ 5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 赤かび病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

- ①現在、発生を認めていない。
 - ②ムギの生育は早い。
 - ③5月の気象は本病の発生にやや助長的である。
- (3) うどんこ病
- 予報内容
- 発生地方 県内全域
- 発生量 平年並～やや多い
- 予報の根拠
- ①現在、発生を認めていない。また、近年の発生量は少ない。
 - ②ムギの生育は早い。
 - ③5月の気象は本病の発生にやや助長的である。

2) イネ

(1) ヒメトビウンカ

予報内容

発生地方 県内全域

発生時期 平年並

発生量 やや多い

予報の根拠

- ①予察灯への飛来は、4月第5半旬まで認められない。
- ②4月中旬のすくい取り調査(耕起前)では、捕獲数は2.1頭/20回振(平年0.8頭)、発生圃場率は34.9%(平年17.0%)で発生量は平年に比べてやや多い。
- ③越冬世代成幼虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は0%(過去7年の平均2.0%)と低い。
- ④5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

(2) ニカメイチュウ(第1世代)

予報内容

発生地方 県内全域

発生時期 平年並

発生量 やや多い

予報の根拠

- ①予察灯への飛来は4月第5半旬に2頭、フェロモントラップへの飛来は4月第4半旬に1頭が認められ、平年に比べ早い。
- ②前年の第2世代成虫発生量は、予察灯への飛来は27頭(平年12.2頭)、フェロモントラップへの飛来は229頭(平年88頭)で平年と比べやや多く、越冬量はやや多いと考えられる。
- ③5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

(3) イネミズゾウムシ

予報内容

発生地方 県内全域

発生時期 平年並

発生量 やや少ない

予報の根拠

- ①予察灯への飛来は、4月第5半旬まで認められない。
- ②前年の新成虫の誘殺数は平年比34%で、越冬量は平年と比べ少ないと考えられる。
- ③5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方 県内「二十世紀」栽培地帯

発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①4月25日の巡回調査では発病を確認しておらず、発生量は平年並みである。
- ②5月の気象は本病の発生にやや助長的である。

(2) 黒星病

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯

発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ①4月25日の巡回調査では発病を確認しておらず、発生量は並みである。
- ②5月の気象は本病の発生にやや助長的である。

(3) シンクイムシ類

予報内容

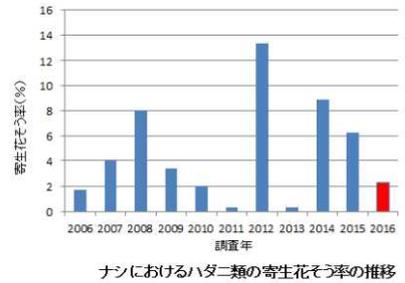
発生地方 県内ナシ栽培地帯

発生時期 やや早い

発生量 平年並～やや多い

- 予報の根拠
 ①初飛来日は4月5日でやや早い。
 ②前年のナシヒメシクイ第3世代成虫の誘殺数は平年並みで、越冬量は平年並みと考えられる。
 ③フェロモントラップ（安来市）でのナシヒメシクイの誘殺数は平年並みである。
 ④5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

- (4) ハマキムシ類
 予報内容
 発生地帯 県内ナシ栽培地帯
 発生時期 平年並
 発生量 やや多い



- 予報の根拠
 ①フェロモントラップの初誘殺は4月18日で平年並み、誘殺数は平年と比べてやや多い。
 ②5月の気象は本種の発生を抑制する要因とはならない。

- (5) ハダニ類
 予報内容
 発生地帯 県内ナシ栽培地帯
 発生量 平年並～やや多い

- 予報の根拠
 ①バンドトラップ調査ではカンザワハダニの越冬量は平年並みである。
 ②4月下旬の巡回調査（安来市）では寄生花そう率は2.3%（平年4.8%）と平年並みである。主要種はクワオオハダニである。
 ③5月の気象は本種の発生にやや助長的である。
 防除上の注意：クワオオハダニに効果がない殺ダニ剤があるので薬剤の選定には注意する。

3) カキ

- (1) 灰色かび病
 予報内容
 発生地帯 県内カキ栽培地帯
 発生量 平年並～やや多い

- 予報の根拠
 ①4月22日の巡回調査では発病葉率0.3%（平年1.3%）で平年並みである。
 ②5月の気象は本病の発生にやや助長的である。

- (2) カキクダアザミウマ
 予報内容
 発生地帯 県内カキ栽培地帯
 発生時期 平年並
 発生量 平年並

- 予報の根拠
 ①4月下旬までに黄色粘着トラップで越冬成虫の誘殺は認められない。
 ②4月27日の巡回調査では巻葉被害が認められない。
 ③5月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

C. 野菜

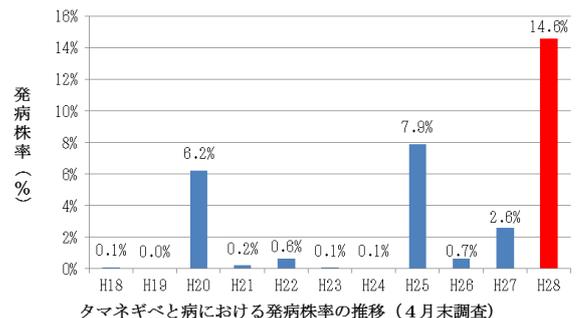
- 1) タマネギ
 (1) ボトリチス属菌による葉枯れ

- 予報内容
 発生地帯 県内全域
 発生量 少ない

- 予報の根拠
 ①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生圃場率0.0%（平年5.6%）、発病株率0.0%（平年0.1%）と平年に比べて少ない。
 ②5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

- (2) ペト病
 予報内容
 発生地帯 県内全域
 発生量 多い

- 予報の根拠
 ①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生圃場率73.3%（平年21.2%）、発病株率14.6%（平年1.8%）と過去10年で最も多い。
 ②5月の気象は本病の発生にやや助長的である。
 注) 平成27年度 注意報第3号 発表中



(3) 腐敗病、軟腐病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや多い

予報の根拠

- ①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生圃場率36.7%（平成41.3%）と平成並みであるが、発病株率は2.0%（平成1.6%）と平成に比べてやや多い。
②5月の気象は本病の発生にやや助長的である。

2) イチゴ

(1) 灰色かび病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発病株率5.1%（平成15.9%）、発病葉率0.3%（平成0.7%）と平成に比べてやや少ない。
②5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) うどんこ病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平成並

予報の根拠

- ①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発病葉率0.0%（平成0.0%）、発病果率0.3%（平成0.6%）と平成並みである。
②5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) アブラムシ類

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 多い

予報の根拠

- ①4月下旬の発生量は、発生圃場率55.6%（平成20.2%）、寄生株率13.3%（平成3.2%）と多い。
②5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

注)平成28年度病害虫発生予察情報 技術資料第3号 参照。

(4) ハダニ類（ナミハダニなど）

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや多い～多い

予報の根拠

- ①4月下旬の発生量は、発生圃場率77.8%（平成52.3%）、寄生株率43.3%（平成25.5%）とやや多い。
②5月の気象は本種の発生にやや助長的である。
注)平成28年度病害虫発生予察情報 技術資料第2号（4月5日発表）参照。

【参考となる事項】

※最新の農薬登録状況

独立行政法人 農林水産消費安全技術センターホームページには、農薬の登録や失効に関する情報、農薬登録情報検索システムなどが掲載されています。
農林水産消費安全技術センターのアドレスは <http://www.acis.famic.go.jp/>

島根県病害虫防除所（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772、FAX 0853-24-3342

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougaityuu/>

e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp